

津田塾大学 数学・計算機科学研究所報

28

Reports of Institute for Mathematics and Computer science

28

第 17 回  
数学史シンポジウム  
(2006)

17 th Symposium on the History of Mathematics  
(2006)

2007

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

Institute for Mathematics and Computer science  
Tsuda College

## まえがき

津田塾大学 数学・計算機科学研究所主催の「数学史シンポジウム」も回を重ね、第 17 回が 2006 年 10 月 14 日、15 日の両日、津田塾大学 5 号館で開催された。この研究所報 28 号はその報告である。

講演をし、原稿を書いて下さった方々に厚く御礼申し上げます。

2007 年 3 月 29 日

津田塾大学 数学・計算機科学研究所

杉浦 光夫

笠原 乾吉

三宅 克哉

長岡 一昭

## 目 次

オイラー積分とガウス	杉本 敏夫	1
Esquisse of a history of Dieudonné modules	石橋 誠	27
限界性能を追求した計算機代数vs和算	木村 欣司	48
和算における代数表現と未知数消去の実際	小松 彦三郎	64
葛藤の救済としての数学 -Ada Byron Lovelaceについて-	柳澤 波香	69
暗号数理学者 釜賀一夫のこと	福富 節男	79
ユークリッド『原論』の図版：中間報告	斎藤 憲	87
種数2の楕円曲線と $\sin^2$ -予想	難波 完爾	101
J. Hadamard, P. Lévy, L. Schwartzと続いた確率解析の系譜	飛田 武幸	175
確率論におけるノイズの歴史	Si Si	183
欧米の数学史教育事情	中根美知代	196
表現論と素粒子のフレーバー対称性	佐野 茂	206
Jacobi の "FUNNDAMENTA NOVA THEORIAE FUNCTIONUM ELLIPTICARUM"について	今野秀二	211
第二次世界大戦と高木貞治	木村 洋	223
オイラーの数論	高瀬正仁	251
Frobenius による「群の指標と表現」の研究（その3）	平井 武	290
Ramanujanグラフと正則LDPC符号	平松豊一 斎藤正顕	319
CONSTRUCTIONS AND DEVELOPMENTS OF THE SOLUTION ON THE NAVIER-STOKES EQUATIONS AROUND ABOUT SOBOLEV'S EMBEDDING THEOREM.	増田 茂	327
RATIONAL FUNCTIONS DEFINED BY LEMNISCATE FUNCTIONS AND PRIMARY NUMBERS OF GAUSSIAN INTEGERS (STEP 1)	小川琢磨	351
Éléments de Géométrieの定義・公理・命題*	堀井政信	374